

作物統計調査 令和7年産水稻の収穫量

令和7年産主食用米収穫量（生産者が使用しているふるい目幅ベース）は前年に比べ2万3,900トンの増加

【調査結果の概要】

東海3県（岐阜県、愛知県及び三重県）における令和7年産の水稻の生産者が使用しているふるい目幅1.80mm及び1.85mmベースの収穫量（主食用）※1は35万1,500tで、前年産に比べ2万3,900t増加となった。

※1 生産者が使用しているふるい目幅1.80mm及び1.85mmベースのふるい上米

これは、作付面積（主食用）が7万2,300haで、前年産に比べ3,200ha増加となったことに加え、東海3県の10a当たり収量（生産者が使用しているふるい目幅ベース）は487kgで、前年産に比べ12kg増加となったためである。

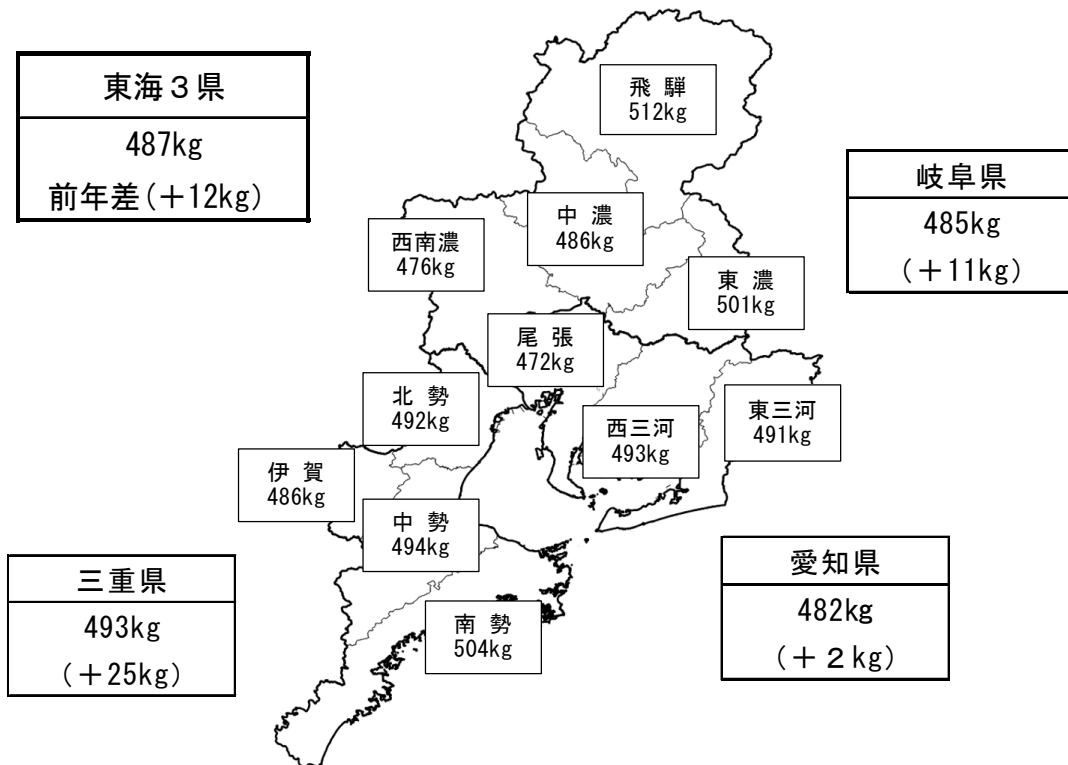
東海3県の作況単収指数は103となった。

参考

令和7年産の水稻のふるい目幅1.70mmベースの収穫量（主食用）※2は36万2,300tで、前年産に比べ2万4,500t増加となった。

※2 生産者が使用しているふるい目幅1.80mm及び1.85mmベースのふるい下米を含む。

図1 県・作柄表示地帯別10a当たり収量
（生産者が使用しているふるい目幅ベース）



- 作付面積（主食用）とは、青刈り面積を含めた水稻全体の作付面積から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積（9月15日時点）を除いた面積である（15ページの【参考1】参照）。
- 10a当たり収量及び収穫量（主食用（生産者ふるい上米））は、生産者が使用しているふるい目幅で選別された玄米の重量である。
- 10a当たり収量及び収穫量（主食用（生産者ふるい下米含む））は、ふるい目幅1.70mmで選別された玄米の重量である。

◎ 累年データ

水稻の年次別推移

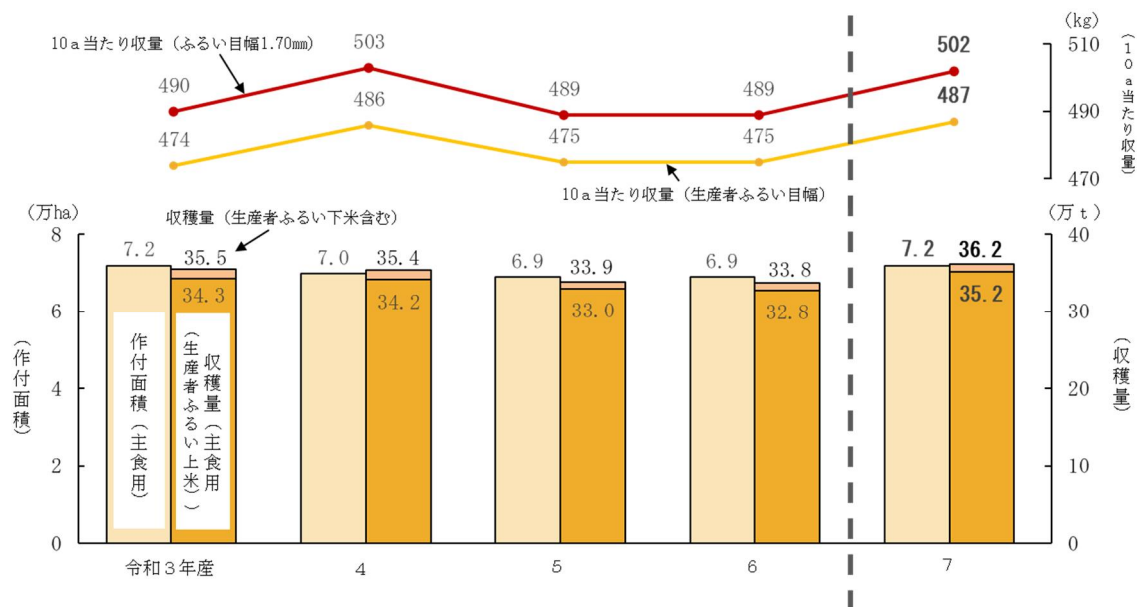
1 東海3県（岐阜県、愛知県及び三重県の計）

年 産	作付面積 (主食用)	生産者が使用しているふるい目幅で選別			ふるい目幅1.70mmで選別			作況 単収 指数
		10a 当たり 収 量	対前年比	収 穫 量 (主食用 (生産者 ふるい上米))	10a 当たり 収 量	対前年比	収 穫 量 (主食用 (生産者 ふるい下米含む))	
	ha	kg	%	t	kg	%	t	
平成28年産	75,600	501	104	379,000	511	104	386,500	103
29	74,900	484	97	361,700	494	97	369,700	98
30	75,300	482	100	363,100	493	100	371,200	99
令和元	75,000	476	99	356,600	486	99	364,100	99
2	74,500	462	97	344,300	480	99	357,900	96
3	72,400	474	103	343,100	490	102	355,100	99
4	70,300	486	103	341,600	503	103	353,500	102
5	69,300	475	98	329,700	489	97	338,600	100
6	69,100	475	100	327,600	489	100	337,800	100
7	72,300	487	103	351,500	502	103	362,300	103

資料：農林水産省統計部『作物統計』（以下、4まで同じ。）

- 前年産まで収穫量（主食用）として公表していたふるい目幅1.70mmの収穫量（主食用）は、令和7年産以降、収穫量（主食用（生産者ふるい下米含む））と表記することとした。
- 生産者が使用しているふるい目幅は、平成28年産から令和元年産までは東海3県では共通で1.80mm、令和2年産以降は県ごとに、最も多い使用割合の目幅（岐阜県は1.80mm、愛知県及び三重県は1.85mm）としている。
- 作況単収指数は、10a 当たり収量の前年産までの5か年中3年平均（最高、最低除く）に対する10a 当たり収量の比率である。また、平成28年産から令和元年産までの作況単収指数は1.70mmのふるい目幅で選別された玄米を基に算出し、令和2年産以降の作況単収指数は生産者が使用しているふるい目幅ベースで算出した数値である。

水稻の作付面積（主食用）、10a 当たり収量及び収穫量の推移（東海3県）



2 岐阜県

年 産	作付面積 (主食用)	生産者が使用しているふるい目幅で選別 (1.80mm)			ふるい目幅1.70mmで選別			作況 単収 指数
		10 a 当たり 収 量	対前年比	収 穫 量 (主食用(生産者 ふるい上米))	10 a 当たり 収 量	対前年比	収 穫 量 (主食用(生産者 ふるい下米含む))	
	ha	kg	%	t	kg	%	t	
平成28年産	21,700	476	101	103,300	486	101	105,500	100
29	21,500	479	101	103,000	488	100	104,900	100
30	21,500	465	97	100,000	478	98	102,800	99
令和元	21,400	473	102	101,200	482	101	103,100	100
2	21,400	459	97	98,200	470	98	100,600	97
3	20,700	466	102	96,500	478	102	98,900	99
4	20,000	477	102	95,400	487	102	97,400	102
5	19,700	476	100	93,800	484	99	95,300	102
6	19,600	474	100	92,900	483	100	94,700	100
7	20,800	485	102	100,900	496	103	103,200	103

3 愛知県

年 産	作付面積 (主食用)	生産者が使用しているふるい目幅で選別 (1.85mm)			ふるい目幅1.70mmで選別			作況 単収 指数
		10 a 当たり 収 量	対前年比	収 穫 量 (主食用(生産者 ふるい上米))	10 a 当たり 収 量	対前年比	収 穫 量 (主食用(生産者 ふるい下米含む))	
	ha	kg	%	t	kg	%	t	
平成28年産	26,900	512	103	137,700	521	104	140,100	103
29	26,600	503	98	133,800	512	98	136,200	100
30	26,700	489	97	130,600	499	97	133,200	97
令和元	26,600	490	100	130,300	499	100	132,700	99
2	26,400	469	96	123,800	490	98	129,400	96
3	25,800	480	102	123,800	496	101	128,000	99
4	25,200	488	102	123,000	505	102	127,300	102
5	24,700	468	96	115,600	480	95	118,600	98
6	25,000	480	103	120,000	497	104	124,300	101
7	25,700	482	100	123,900	498	100	128,000	101

4 三重県

年 産	作付面積 (主食用)	生産者が使用しているふるい目幅で選別 (1.85mm)			ふるい目幅1.70mmで選別			作況 単収 指数
		10 a 当たり 収 量	対前年比	収 穫 量 (主食用(生産者 ふるい上米))	10 a 当たり 収 量	対前年比	収 穫 量 (主食用(生産者 ふるい下米含む))	
	ha	kg	%	t	kg	%	t	
平成28年産	27,000	511	107	138,000	522	107	140,900	105
29	26,800	466	91	124,900	480	92	128,600	95
30	27,100	489	105	132,500	499	104	135,200	100
令和元	26,900	465	95	125,100	477	96	128,300	97
2	26,700	458	98	122,300	479	100	127,900	98
3	25,900	474	103	122,800	495	103	128,200	102
4	25,200	489	103	123,200	511	103	128,800	106
5	24,900	483	99	120,300	501	98	124,700	103
6	24,500	468	97	114,700	485	97	118,800	99
7	25,700	493	105	126,700	510	105	131,100	104

水稲玄米のふるい目幅別重量分布状況、10a 当たり収量及び収穫量（主食用）

生産者等が販売するために使用しているふるい目幅は、地域、品種等により異なるため、参考として、ふるい目幅別の重量割合の数値並びにふるい目幅別 10a 当たり収量及び収穫量（主食用）の数値を示すと次のとおりである。

本調査では、農産物規格規程に定める三等以上の玄米の重量を把握しており、未熟粒・被害粒等の混入が多く農産物規格規程に定める三等の品位に達しない場合は、再選別を行っており、その選別後の値を含んでいる。

表 1 ふるい目幅別重量分布状況の推移（東海 3 県）

年 産	計	単位：%					
		1.70mm以上 1.75mm未満	1.75 ～1.80	1.80 ～1.85	1.85 ～1.90	1.90 ～2.00	2.00mm 以 上
令和 2 年産	100.0	0.9	1.4	2.0	2.4	11.0	82.3
3	100.0	0.8	1.3	1.8	2.3	11.3	82.5
4	100.0	0.9	1.3	1.6	2.3	8.2	85.7
5	100.0	0.7	1.0	1.3	1.8	6.7	88.5
6	100.0	0.7	1.2	1.6	2.1	8.7	85.7
7	100.0	0.9	1.3	1.8	2.8	10.5	82.7
対前年差(ポイント)	0.0	0.2	0.1	0.2	0.7	1.8	△ 3.0

注：ふるい目幅別重量分布とは、それぞれのふるい目幅毎の玄米重量の割合である（以下、表 4 において同じ。）。

表 2 ふるい目幅別 10a 当たり収量及び収穫量（主食用）の推移（東海 3 県）

年 産	単位	単位：%						
		1.70mm 以 上	1.75mm 以 上	1.80mm 以 上	1.85mm 以 上	1.90mm 以 上	2.00mm 以 上	
令和 2 年産	10a 当たり収量	kg	480	476	469	459	448	395
	収穫量（主食用）	t	357,900	354,700	349,700	342,500	333,900	294,600
3	10a 当たり収量	kg	490	486	480	471	460	404
	収穫量（主食用）	t	355,100	352,300	347,600	341,300	333,100	293,000
4	10a 当たり収量	kg	503	498	492	484	472	431
	収穫量（主食用）	t	353,500	350,300	345,700	340,100	331,900	302,900
5	10a 当たり収量	kg	489	486	481	474	466	433
	収穫量（主食用）	t	338,600	336,200	332,800	328,400	322,300	299,700
6	10a 当たり収量	kg	489	486	480	472	462	419
	収穫量（主食用）	t	337,800	335,400	331,400	326,000	318,900	289,500
7	10a 当たり収量	kg	502	497	491	485	471	418
	収穫量（主食用）	t	362,300	359,100	354,500	350,000	340,000	301,700
	対前年比 （収穫量（主食用））	%	107	107	107	107	107	104

【調査結果】

1 東海3県

(1) 作付面積（主食用）

令和7年産水稻の作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた主食用作付面積は7万2,300haで、前年産に比べ3,200ha増加となった。

(2) 作柄概況（生産者が使用しているふるい目幅ベース）

東海3県の10a当たり収量（生産者が使用しているふるい目幅ベース）は、487kg（前年産に比べ+12kg）となった。

岐阜県は485kg（前年産に比べ+11kg）、愛知県は482kg（同+2kg）、三重県は493kg（同+25kg）となった。

(3) 収穫量（主食用（生産者ふるい上米））

主食用作付面積に10a当たり収量（生産者が使用しているふるい目幅ベース）を乗じた収穫量（主食用（生産者ふるい上米））は35万1,500t（前年産に比べ2万3,900t増加）となった。

(4) 作況単収指数

東海3県の作況単収指数は103となった。

(5) 玄米品位の状況

水稻作況標本筆の刈取試料（生産者が使用しているふるい目幅で選別した玄米）の玄米品位の状況は、白未熟粒7.3%、死米0.8%、胴割粒2.1%、着色粒0.4%となった。

参考

ふるい目幅1.70mmベースの収穫量（主食用（生産者ふるい下米含む））は36万2,300t（前年産に比べ2万4,500t増加）となった。

○ 作況単収指数は、生産者が使用しているふるい目幅ベースで算出した10a当たり収量の前年産までの5か年中3年平均（最高、最低除く）に対する10a当たり収量の比率である。

表3 令和7年産水稻の作付面積（主食用）及び収穫量

区 分	作付面積（主食用）			生産者が使用しているふるい目幅で選別					
	実 数 ①	前年産との比較		10 a 当たり収量		収穫量 （主食用（生産者ふるい上米））			
		対 差	対 比	実 数 ②	前年産との 比較 対 比	実 数 ③=①×②	前年産との比較		
							対 差	対 比	
ha	ha	%	kg	%	t	t	%		
東 海 3 県	72,300	3,200	105	487	103	351,500	23,900	107	
岐 阜 県	20,800	1,200	106	485	102	100,900	8,000	109	
愛 知 県	25,700	700	103	482	100	123,900	3,900	103	
三 重 県	25,700	1,200	105	493	105	126,700	12,000	110	

区 分	ふるい目幅1.70mmで選別					作況 単収 指数
	10 a 当たり収量		収穫量 （主食用（生産者ふるい下米含む））			
	実 数 ④	前年産との 比較 対 比	実 数 ⑤=①×④	前年産との比較		
				対 差	対 比	
kg	%	t	t	%		
東 海 3 県	502	103	362,300	24,500	107	103
岐 阜 県	496	103	103,200	8,500	109	103
愛 知 県	498	100	128,000	3,700	103	101
三 重 県	510	105	131,100	12,300	110	104

- 注：1 作付面積（主食用）（①）とは、青刈り面積を含めた水稻全体の作付面積から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた面積である。
- 2 生産者が使用しているふるい目幅で選別された10 a 当たり収量（②）及び収穫量（主食用（生産者ふるい上米））（③）は、生産者が使用しているふるい目幅で選別された玄米の重量である。
- 3 生産者が使用しているふるい目幅で選別された10 a 当たり収量（②）については、県ごとに、過去5か年に生産者が使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅（岐阜県は1.80mm、愛知県及び三重県は1.85mm）で選別された玄米を基に算出した数値である。
- 4 10 a 当たり収量（④）及び収穫量（主食用（生産者ふるい下米含む））（⑤）は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。
- 5 収穫量（主食用（生産者ふるい上米））（③）及び収穫量（主食用（生産者ふるい下米含む））（⑤）については、県ごとの積上げ値であるため、表頭の計算は一致しない場合がある。
- 6 作況単収指数は、生産者が使用しているふるい目幅ベースで算出した10 a 当たり収量の前年産までの5か年中3年平均（最高、最低除く）に対する10 a 当たり収量の比率である。

表4 令和7年産ふるい目幅別重量分布状況

単位：%

区 分		計	1.70mm以上 1.75mm未満	1.75 ～1.80	1.80 ～1.85	1.85 ～1.90	1.90 ～2.00	2.00mm 以 上
東 海 3 県	重量割合	100.0	0.9	1.3	1.8	2.8	10.5	82.7
	前年値	100.0	0.7	1.2	1.6	2.1	8.7	85.7
	対前年差(ポイント)	0.0	0.2	0.1	0.2	0.7	1.8	△ 3.0
岐 阜 県 (1.80mm)	重量割合	100.0	1.0	1.3	1.5	2.9	10.1	83.2
	前年値	100.0	0.7	1.2	1.2	2.6	9.6	84.7
	対前年差(ポイント)	0.0	0.3	0.1	0.3	0.3	0.5	△ 1.5
愛 知 県 (1.85mm)	重量割合	100.0	0.7	1.0	1.8	2.6	9.4	84.5
	前年値	100.0	0.6	1.2	1.7	1.7	6.7	88.1
	対前年差(ポイント)	0.0	0.1	△ 0.2	0.1	0.9	2.7	△ 3.6
三 重 県 (1.85mm)	重量割合	100.0	1.0	1.5	2.0	2.9	11.9	80.7
	前年値	100.0	0.7	1.1	1.7	2.1	10.0	84.4
	対前年差(ポイント)	0.0	0.3	0.4	0.3	0.8	1.9	△ 3.7

注： 県名の下に記載されている括弧内の数値は、県ごとに、過去5か年に生産者が使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅（岐阜県は1.80mm、愛知県及び三重県は1.85mm）である（以下、表6まで同じ。）。

表5 令和7年産ふるい目幅別10a当たり収量及び収穫量（主食用）

区 分		単位	1.70mm 以 上	1.75mm 以 上	1.80mm 以 上	1.85mm 以 上	1.90mm 以 上	2.00mm 以 上
東 海 3 県	10 a 当たり収量	kg	502	497	491	485	471	418
	収穫量（主食用）	t	362,300	359,100	354,500	350,000	340,000	301,700
岐 阜 県 (1.80mm)	10 a 当たり収量	kg	496	491	485	479	464	414
	収穫量（主食用）	t	103,200	102,200	100,900	99,400	96,500	86,100
愛 知 県 (1.85mm)	10 a 当たり収量	kg	498	495	490	482	471	423
	収穫量（主食用）	t	128,000	127,100	125,800	123,900	120,600	108,400
三 重 県 (1.85mm)	10 a 当たり収量	kg	510	504	496	493	478	417
	収穫量（主食用）	t	131,100	129,800	127,800	126,700	122,900	107,200

表6 令和7年産水稻の作況標本筆の10a当たり収量の分布状況

区 分		計	100kg 未満	100 ～200	200 ～300	300 ～400	400 ～500	500 ～600	600 ～700	700 ～800	800kg 以上
東海3県	筆数割合	100.0	-	0.6	4.2	13.0	31.3	42.5	7.6	0.8	-
	前年値	100.0	-	0.6	3.0	15.9	38.6	34.5	7.0	0.4	-
	対前年差(ポイント)	0.0	-	0.0	1.2	△ 2.9	△ 7.3	8.0	0.6	0.4	-
岐阜県 (1.80mm)	筆数割合	100.0	-	0.6	3.2	16.1	29.7	40.7	9.7	-	-
	前年値	100.0	-	-	2.0	17.5	40.9	32.5	7.1	-	-
	対前年差(ポイント)	0.0	-	0.6	1.2	△ 1.4	△ 11.2	8.2	2.6	-	-
愛知県 (1.85mm)	筆数割合	100.0	-	0.6	5.2	8.7	33.1	48.3	4.1	-	-
	前年値	100.0	-	-	4.6	13.2	35.1	38.5	8.6	-	-
	対前年差(ポイント)	0.0	-	0.6	0.6	△ 4.5	△ 2.0	9.8	△ 4.5	-	-
三重県 (1.85mm)	筆数割合	100.0	-	0.5	4.1	14.2	31.0	39.1	9.1	2.0	-
	前年値	100.0	-	1.5	2.5	17.1	39.7	32.7	5.5	1.0	-
	対前年差(ポイント)	0.0	-	△ 1.0	1.6	△ 2.9	△ 8.7	6.4	3.6	1.0	-

注：10a 当たり収量は、生産者が使用しているふるい目幅で選別された玄米の重量である。

図2 令和7年産水稻の作況標本筆の10a 当たり収量の分布状況（東海3県）
（生産者が使用しているふるい目幅ベース）

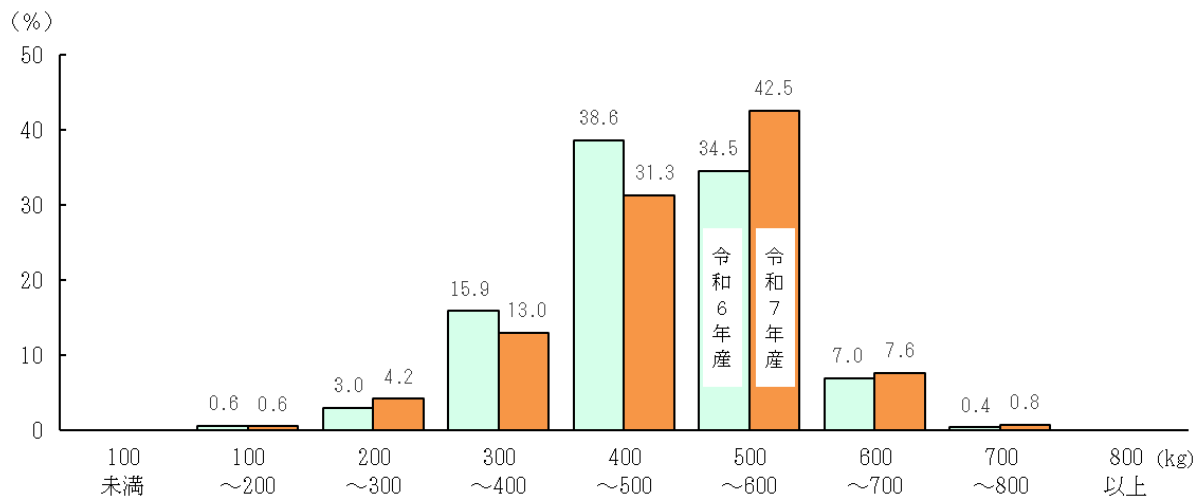


表7 令和7年産水稻の玄米品位の状況

区 分		白未熟粒	死米	胴割粒	着色粒
東海3県	重量割合	7.3	0.8	2.1	0.4
岐阜県	重量割合	5.7	0.6	4.0	0.4
愛知県	重量割合	7.6	0.7	2.0	0.5
三重県	重量割合	8.3	0.9	0.7	0.3

注：1 水稻作況標本筆の刈取試料（生産者が使用しているふるい目幅で選別した玄米）を、筆ごとに穀粒判別器を用いて品位分析を行い、その結果を集計したものであり、調製のうえ販売される玄米の品位とは異なる。
2 白未熟粒は白色不透明な部分の大きさが粒平面の1/2以上のものである粒、死米は粉状質で光沢がないものが2/3以上を占める粒、胴割粒は粒平面に横一条の亀裂がすっきり通っている粒、着色粒は着色部分の大きさが直径1mm以上かつ粒表面の2/3以下のものである粒をいう。

2 岐阜県

(1) 作付面積

令和7年産水稻の主食用作付面積は2万800ha（前年産に比べ1,200ha増加）となった。

(2) 作柄概況

岐阜県の10a当たり収量（生産者が使用しているふるい目幅（1.80mm）ベース）は485kg（前年産に比べ+11kg）となった。

これは、全もみ数が前年に比べやや多くなったことに加えて、登熟（千もみ当たり収量）もおおむね順調に推移したためである。

なお、作柄表示地帯別には、西南濃は476kg（前年産に比べ+16kg）、中濃は486kg（同+13kg）、東濃は501kg（同+8kg）、飛騨は512kg（同△1kg）となった。

(3) 収穫量

主食用作付面積に10a当たり収量（生産者が使用しているふるい目幅ベース）を乗じた収穫量（主食用（生産者ふるい上米））は10万900t（前年産に比べ8,000t増加）となった。

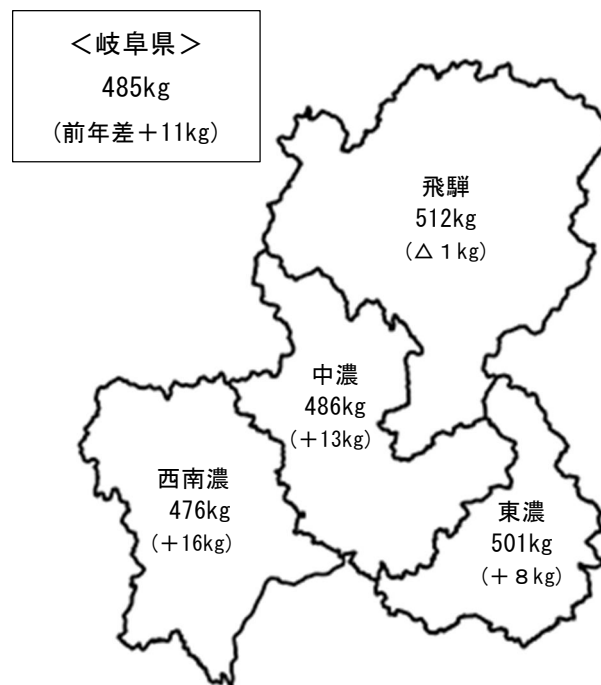
(4) 作況単収指数

岐阜県の作況単収指数は103となった。

(5) 玄米品位の状況

水稻作況標本筆の刈取試料（生産者が使用しているふるい目幅で選別した玄米）の玄米品位の状況は、白未熟粒5.7%、死米0.6%、胴割粒4.0%、着色粒0.4%となった。

図3 作柄表示地帯別10a当たり収量
（生産者が使用しているふるい目幅ベース）



参考

ふるい目幅1.70mmベースの収穫量（主食用（生産者ふるい下米含む））は10万3,200t（前年産に比べ8,500t増加）となった。

3 愛知県

(1) 作付面積

令和7年産水稻の主食用作付面積は2万5,700ha(前年産に比べ700ha増加)となった。

(2) 作柄概況

愛知県の10a当たり収量(生産者が使用しているふるい目幅(1.85mm)ベース)は482kg(前年産に比べ+2kg)となった。

これは、全もみ数が前年に比べやや多くなったことに加えて、登熟(千もみ当たり収量)もおおむね順調に推移したためである。

なお、作柄表示地帯別には、尾張は472kg(前年産に比べ Δ 2kg)、西三河は493kg(同+3kg)、東三河は491kg(同+11kg)となった。

(3) 収穫量

主食用作付面積に10a当たり収量(生産者が使用しているふるい目幅ベース)を乗じた収穫量(主食用(生産者ふるい上米))は12万3,900t(前年産に比べ3,900t増加)となった。

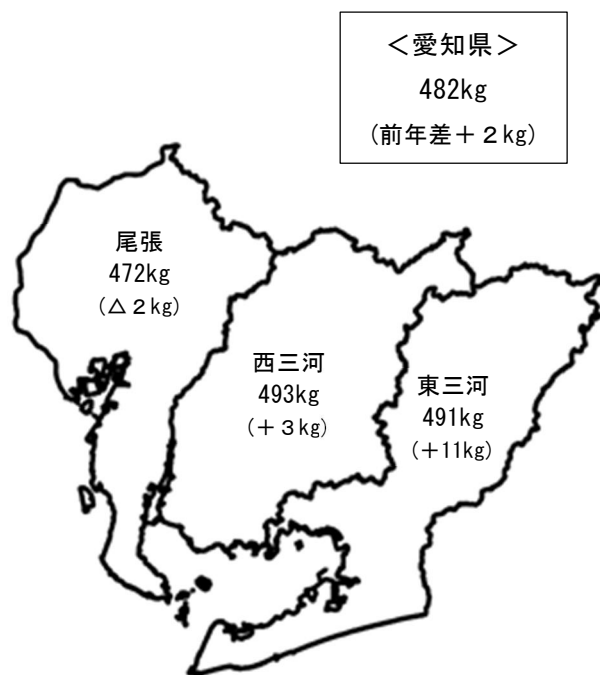
(4) 作況単収指数

愛知県の作況単収指数は101となった。

(5) 玄米品位の状況

水稻作況標本筆の刈取試料(生産者が使用しているふるい目幅で選別した玄米)の玄米品位の状況は、白未熟粒7.6%、死米0.7%、胴割粒2.0%、着色粒0.5%となった。

図4 作柄表示地帯別10a当たり収量(生産者が使用しているふるい目幅ベース)



参考

ふるい目幅1.70mmベースの収穫量(主食用(生産者ふるい下米含む))は12万8,000t(前年産に比べ3,700t増加)となった。

4 三重県

(1) 作付面積

令和7年産水稻の主食用作付面積は2万5,700ha（前年産に比べ1,200ha増加）となった。

(2) 作柄概況

三重県の10a当たり収量（生産者が使用しているふるい目幅（1.85mm）ベース）は493kg（前年産に比べ+25kg）となった。

これは、全もみ数が前年に比べ多くなったことに加えて、登熟（千もみ当たり収量）は一部地域で不稔もみの発生により前年を下回ったものの、県全体としてはおおむね順調に推移したためである。

なお、作柄表示地帯別には、北勢は492kg（前年産に比べ+31kg）、中勢は494kg（同+28kg）、南勢は504kg（同+33kg）、伊賀は486kg（同+1kg）となった。

(3) 収穫量

主食用作付面積に10a当たり収量（生産者が使用しているふるい目幅ベース）を乗じた収穫量（主食用（生産者ふるい上米））は12万6,700t（前年産に比べ1万2,000t増加）となった。

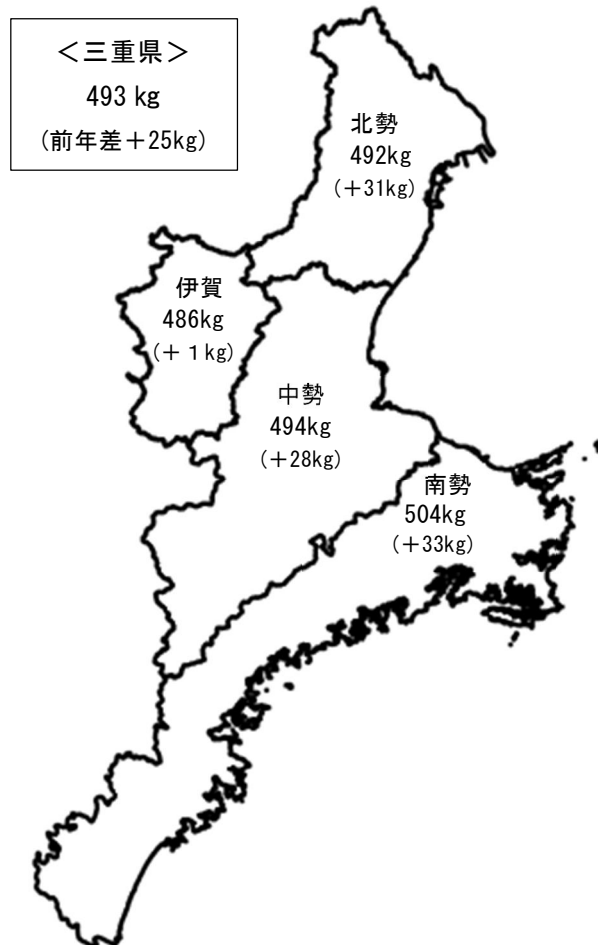
(4) 作況単収指数

三重県の作況単収指数は104となった。

(5) 玄米品位の状況

水稻作況標本筆の刈取試料（生産者が使用しているふるい目幅で選別した玄米）の玄米品位の状況は、白未熟粒8.3%、死米0.9%、胴割粒0.7%、着色粒0.3%となった。

図5 作柄表示地帯別10a当たり収量
（生産者が使用しているふるい目幅ベース）



参考

ふるい目幅1.70mmベースの収穫量（主食用（生産者ふるい下米含む））は13万1,100t（前年産に比べ1万2,300t増加）となった。

【統 計 表】

統計表

ページ

- | | | |
|---|--------------------------------------|----|
| 1 | 令和 7 年産水稻の作付面積及び収穫量…………… | 13 |
| 2 | 令和 7 年産水稻の作況標本筆の10 a 当たり収量の分布状況…………… | 14 |
| 3 | 令和 7 年産水稻の作柄表示地帯別玄米重歩合…………… | 14 |

利用上の注意

- 1 統計数値については、次の方法によって四捨五入しており、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

原 数	6 桁 (10万)	5 桁 (1 万)	4 桁 (1,000)	3 桁以下 (100以下)	
四捨五入する桁数 (下から)	2 桁		1 桁	四捨五入しない	
例	四捨五入する前 (原数)	123,456	12,345	1,234	123
	四捨五入した数値 (統計数値)	123,500	12,300	1,230	123

- 2 表中に用いた記号は次のとおりである。
- 「0.0」：増減がないもの
 - 「－」：事実のないもの
 - 「…」：事実不詳又は調査を欠くもの
 - 「△」：負数又は減少したもの
 - 「nc」：計算不能
- 3 この統計表に記載された数値等を他に転載する場合は、「令和 7 年産水稻の収穫量」（東海農政局）による旨を記載してください。

1 令和7年産水稻の作付面積及び収穫量

区 分	作付面積（主食用）			生産者が使用しているふるい目幅で選別						B 収穫量 （生産者ふるい下米）		
				10a 当たり収量		A 収穫量 （主食用（生産者ふるい上米））						
	実 数 ①	前年産との比較		実 数 ②	前年産との比較 対 比	実 数 ③=①×②	前年産との比較		実 数 ④=⑥-③	前年産との比較		
		対 差	対 比				対 差	対 比		対 差	対 比	
	ha	ha	%	kg	%	t	t	%	t	t	%	
東海3県	72,300	3,200	105	487	103	351,500	23,900	107	10,800	600	106	
岐阜県	20,800	1,200	106	485	102	100,900	8,000	109	2,300	500	128	
西南濃	…	nc	nc	476	103	…	nc	nc	…	nc	nc	
中濃	…	nc	nc	486	103	…	nc	nc	…	nc	nc	
東濃	…	nc	nc	501	102	…	nc	nc	…	nc	nc	
飛騨	…	nc	nc	512	100	…	nc	nc	…	nc	nc	
愛知県	25,700	700	103	482	100	123,900	3,900	103	4,100	△ 200	95	
尾張	…	nc	nc	472	100	…	nc	nc	…	nc	nc	
西三河	…	nc	nc	493	101	…	nc	nc	…	nc	nc	
東三河	…	nc	nc	491	102	…	nc	nc	…	nc	nc	
三重県	25,700	1,200	105	493	105	126,700	12,000	110	4,400	300	107	
北勢	…	nc	nc	492	107	…	nc	nc	…	nc	nc	
中勢	…	nc	nc	494	106	…	nc	nc	…	nc	nc	
南勢	…	nc	nc	504	107	…	nc	nc	…	nc	nc	
伊賀	…	nc	nc	486	100	…	nc	nc	…	nc	nc	

区 分	ふるい目幅1.70mmで選別						作付面積（子実用）			収穫量（子実用）			作況 単収 指数
	10a 当たり収量		C=A+B 収穫量 （主食用（生産者ふるい下米含む））				作付面積（子実用）			収穫量（子実用）			
	実 数 ⑤	前年産との比較 対 比	実 数 ⑥=①×⑤	前年産との比較		実 数 ⑦	前年産との比較		実 数 ⑧=⑦×⑤	前年産との比較			
				対 差	対 比		対 差	対 比		対 差	対 比		
	kg	%	t	t	%	ha	ha	%	t	t	%		
東海3県	502	103	362,300	24,500	107	74,500	2,400	103	373,700	20,800	106	103	
岐阜県	496	103	103,200	8,500	109	21,900	800	104	108,600	6,700	107	103	
西南濃	487	103	…	nc	nc	12,700	700	106	61,800	5,300	109	104	
中濃	495	103	…	nc	nc	3,710	30	101	18,400	700	104	102	
東濃	513	103	…	nc	nc	2,930	100	104	15,000	900	106	101	
飛騨	521	100	…	nc	nc	2,590	20	101	13,500	100	101	102	
愛知県	498	100	128,000	3,700	103	26,600	400	102	132,500	2,300	102	101	
尾張	485	99	…	nc	nc	13,000	300	102	63,100	1,000	102	100	
西三河	510	100	…	nc	nc	9,100	60	101	46,400	300	101	102	
東三河	509	102	…	nc	nc	4,540	150	103	23,100	1,300	106	103	
三重県	510	105	131,100	12,300	110	26,000	1,100	104	132,600	11,800	110	104	
北勢	513	107	…	nc	nc	8,290	320	104	42,500	4,200	111	106	
中勢	511	106	…	nc	nc	9,870	910	110	50,400	7,100	116	104	
南勢	512	106	…	nc	nc	3,550	△ 90	98	18,200	700	104	106	
伊賀	501	99	…	nc	nc	4,260	△ 30	99	21,300	△ 300	99	97	

注：1 作付面積（主食用）（①）とは、青刈り面積を含めた水稻全体の作付面積から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた面積である。
 2 生産者が使用しているふるい目幅で選別された10a 当たり収量（②）及び収穫量（主食用（生産者ふるい上米））（③）は、生産者が使用しているふるい目幅で選別された玄米の重量である。
 3 生産者が使用しているふるい目幅で選別された10a 当たり収量（②）については、県ごとに、過去5か年に生産者が使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅（岐阜県は1.80mm、愛知県及び三重県は1.85mm）で選別された玄米を基に算出した数値である。
 4 10a 当たり収量（⑤）及び収穫量（主食用（生産者ふるい下米含む））（⑥）は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。
 5 収穫量（生産者ふるい下米）（④）とは、収穫量（主食用（生産者ふるい下米含む））（⑥）から収穫量（主食用（生産者ふるい上米））（③）を差し引いた玄米の重量である。
 6 収穫量（主食用（生産者ふるい上米））（③）及び収穫量（主食用（生産者ふるい下米含む））（⑥）については県ごとの積上げ値であるため、表頭の計算は一致しない場合がある。
 7 作付面積（子実用）とは、青刈り面積を含めた水稻全体の作付面積から青刈り面積（飼料用米・WCS用稲等を含む。）を除いた面積である。
 8 収穫量（子実用）（⑧）は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。
 9 収穫量（子実用）（⑧）については、県ごとの積上げ値であるため、表頭の計算は一致しない場合がある。
 10 作況単収指数は、生産者が使用しているふるい目幅ベースで算出した10a 当たり収量の前年産までの5か年中3年平均（最高、最低除く）に対する10a 当たり収量の比率である。

2 令和7年産水稻の作況標本筆の10a 当たり収量の分布状況

単位：%

区 分	計	100kg 未満	100 ～200	200 ～300	300 ～400	400 ～500	500 ～600	600 ～700	700 ～800	800kg 以上
東海3県	100.0	-	0.6	4.2	13.0	31.3	42.5	7.6	0.8	-
岐阜県	100.0	-	0.6	3.2	16.1	29.7	40.7	9.7	-	-
西南濃	100.0	-	1.2	4.8	18.1	28.9	41.0	6.0	-	-
中濃	100.0	-	-	3.7	14.8	29.6	48.2	3.7	-	-
東濃	100.0	-	-	-	4.3	39.1	39.2	17.4	-	-
飛騨	100.0	-	-	-	22.7	22.7	31.9	22.7	-	-
愛知県	100.0	-	0.6	5.2	8.7	33.1	48.3	4.1	-	-
尾張	100.0	-	1.3	7.7	10.3	28.2	48.7	3.8	-	-
西三河	100.0	-	-	4.5	7.6	31.8	53.1	3.0	-	-
東三河	100.0	-	-	-	7.1	50.1	35.7	7.1	-	-
三重県	100.0	-	0.5	4.1	14.2	31.0	39.1	9.1	2.0	-
北勢	100.0	-	-	3.3	16.7	40.0	23.3	11.7	5.0	-
中勢	100.0	-	1.3	5.3	14.5	23.7	43.4	11.8	-	-
南勢	100.0	-	-	-	3.4	41.4	51.8	3.4	-	-
伊賀	100.0	-	-	6.3	18.8	21.9	46.8	3.1	3.1	-

注：10a 当たり収量は、生産者が使用しているふるい目幅で選別された玄米の重量である。

3 令和7年産水稻の作柄表示地帯別玄米重歩合

単位：%

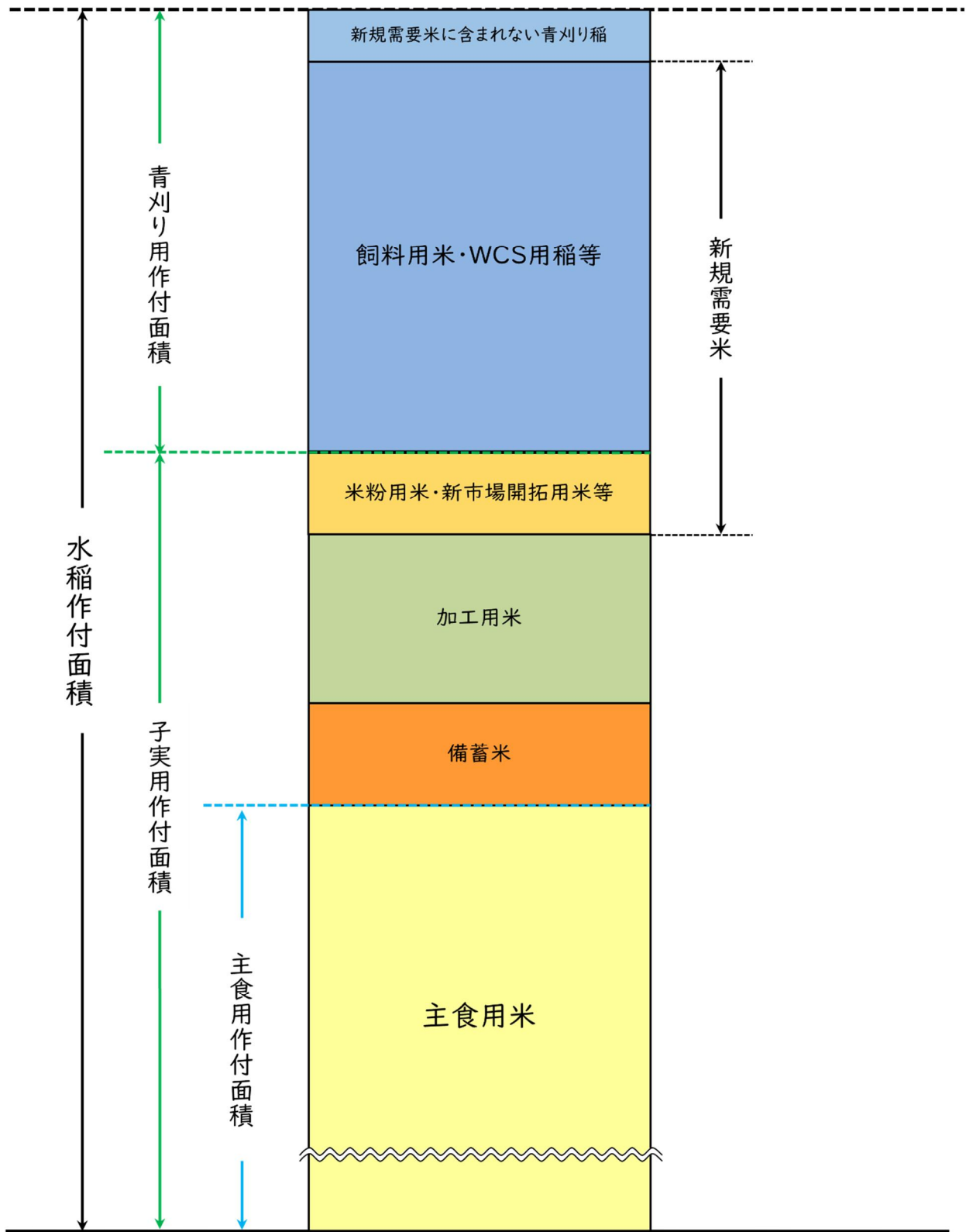
区 分	玄米重 歩合	区 分	玄米重 歩合	区 分	玄米重 歩合
岐阜県	97.7	愛知県	98.1	三重県	97.1
西南濃	97.8	尾張	98.5	北勢	97.5
中濃	97.3	西三河	98.0	中勢	97.2
東濃	97.0	東三河	98.1	南勢	97.7
飛騨	97.8			伊賀	96.1

注：1 作況標本筆のデータにより取りまとめたものである。

2 1.70mmのふるい目幅で選別された10a 当たり玄米重及び粗玄米重より推計したものである。

【参考 1】

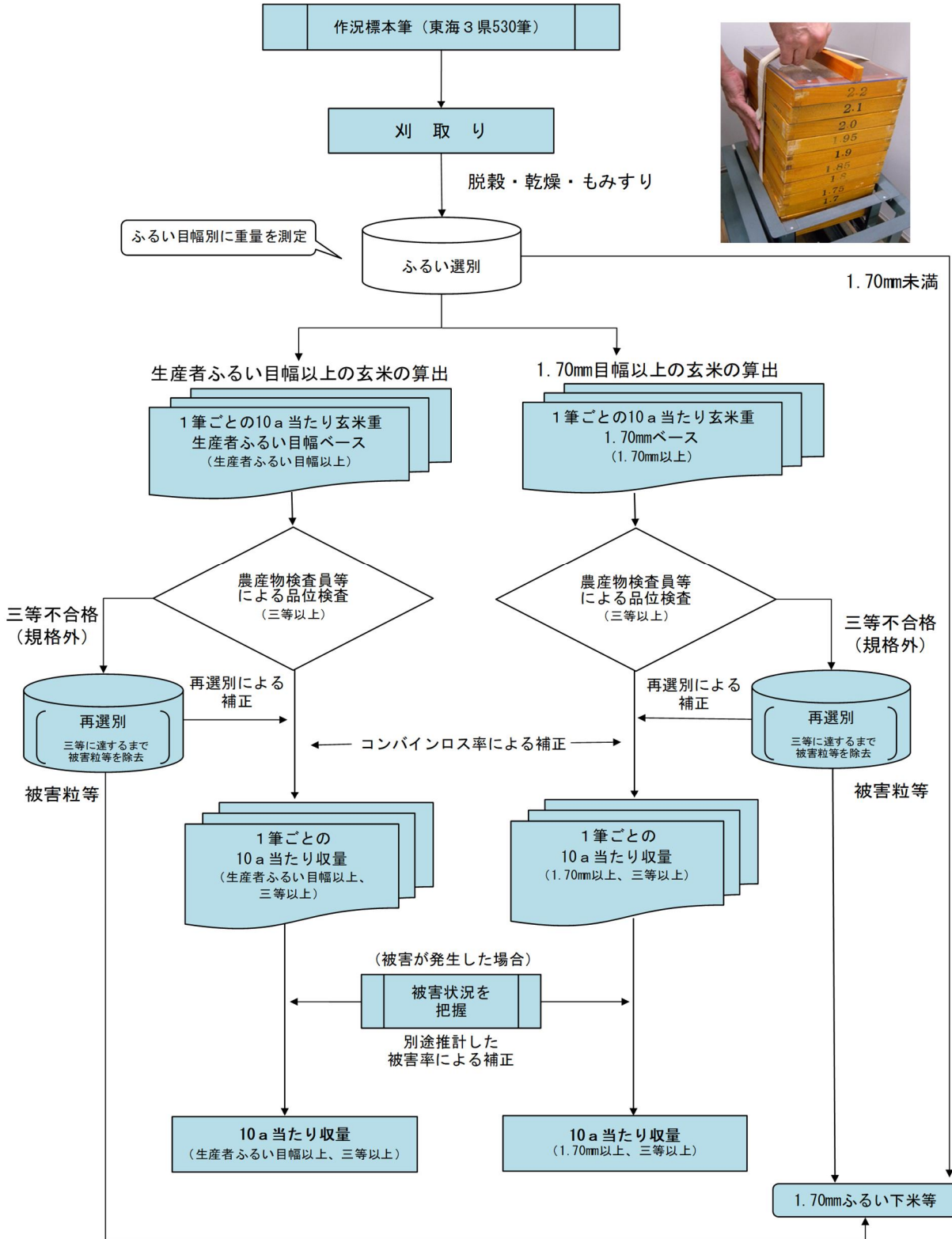
水稻作付面積の概念図



【参考2】

刈取り調査における10a当たり収量の算出方法

作況標本筆（【参考3】参照）ごとに一定面積の稲を刈取り、農産物規格規程に定める三等の品位以上に相当するよう選別を行い、その重さを計測し、コンバインロス率及び被害率による補正を行い10a当たり収量を算出している（下図参照）。



【参考3】

作況標本筆^{ふで}とは

収穫量の実測調査の対象とした作況標本筆（1枚のほ場を筆（ふで）と呼ぶ。）は、各県の水稻の状況が把握できるように、標本理論に基づいて次のように各地で選定し（東海3県で530筆）調査している。

全国の全ての土地
（母集団）



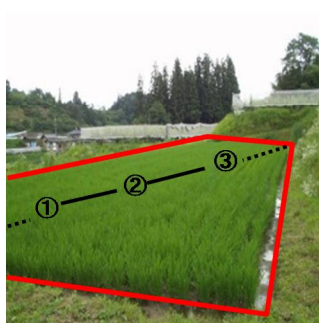
1 全国の全ての土地を200m四方（北海道は、400m四方）に区切って編成した単位区のうち、水田が含まれる単位区を調査母集団とし、その中から、無作為抽出法（人間の恣意を排したくじ引きのような選び方）により「標本単位区」を選んでいる。

標本単位区
（200m四方の土地）



2 標本単位区の中から無作為に1枚の水田ほ場を選び、「作況標本筆」としている。

作況標本筆
（東海3県で530筆）

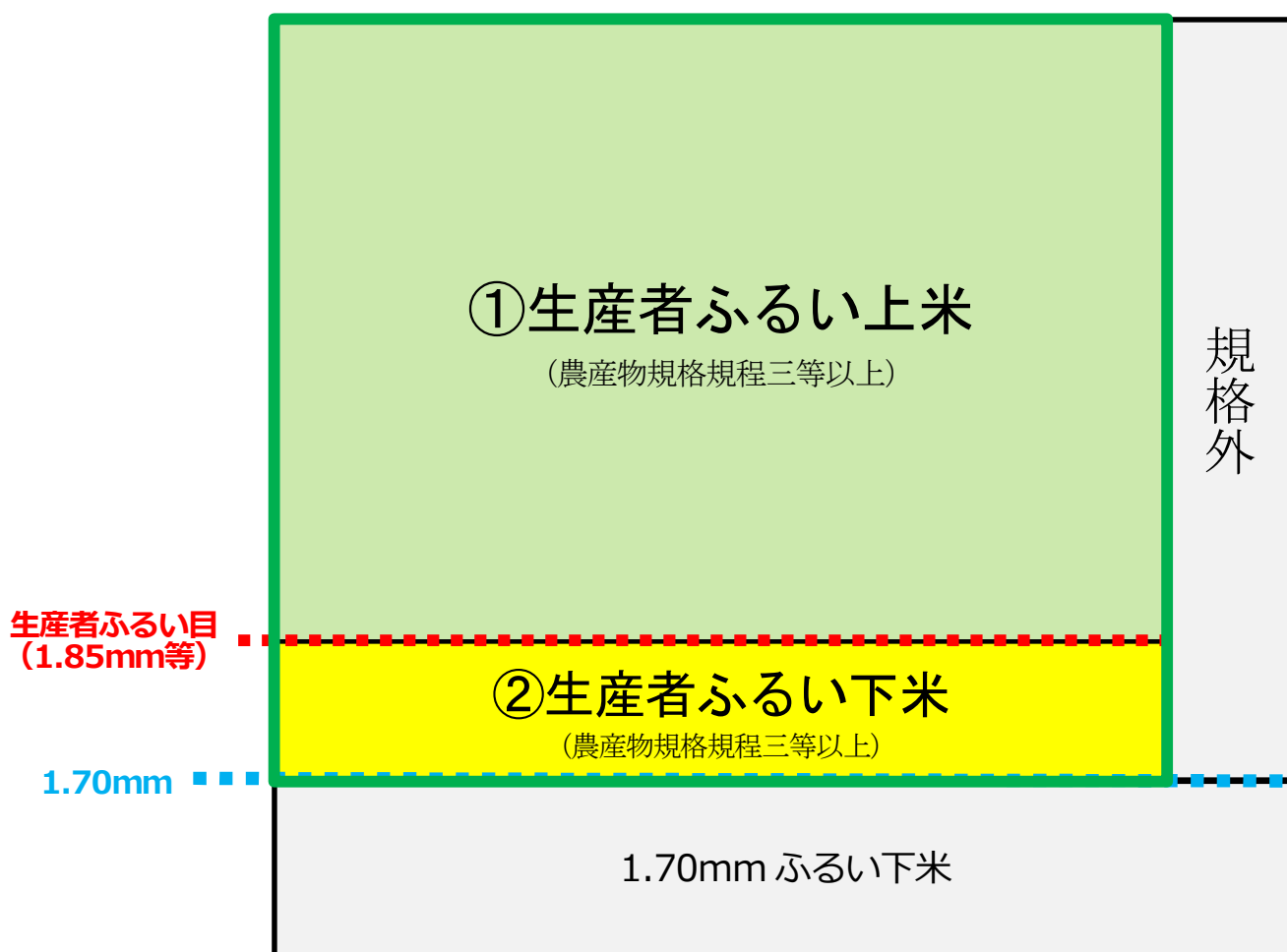


3 各作況標本筆の対角線上の3か所(①、②、③)を実測調査箇所として、調査箇所ごとに1㎡（合計3㎡）分のサンプル採取（坪刈り）を行っている。

【参考4】

水稲収穫量調査の収穫量イメージ

- ① 収穫量（生産者ふるい上米）は、県ごとに最も使用されている生産者ふるい目（1.80、1.85mm）以上で農産物規格規程三等以上の収穫量を対象としている。
- ② 収穫量（生産者ふるい下米）は、ふるい目幅 1.70mm 以上、農産物規格規程三等以上で生産者ふるい目幅未満の収穫量を対象としている。
- ③ 収穫量（生産者ふるい下米含む）は、①と②をあわせた収穫量（緑枠）を対象としている。



【調査の概要】

- ・ 面積調査

<https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/menseki/gaiyou/>

- ・ 作況調査（水陸稲、麦類、大豆、そば、かんしょ、飼料作物、工芸農作物）

https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/gaiyou/

○ 作柄表示地帯

東海3県の各作柄表示地帯の包括範囲は、下表のとおり。

区分	地帯名	包 括 市 町 村
岐阜県	西南濃	岐阜市、大垣市、羽島市、各務原市、山県市、瑞穂市、本巣市、海津市、岐南町、笠松町、養老町、垂井町、関ヶ原町、神戸町、輪之内町、安八町、揖斐川町、大野町、池田町、北方町
	中 濃	関市、美濃市、美濃加茂市、可児市、郡上市、坂祝町、富加町、川辺町、七宗町、八百津町、白川町、東白川村、御嵩町
	東 濃 飛 騨	多治見市、中津川市、瑞浪市、恵那市、土岐市 高山市、飛騨市、下呂市、白川村
愛知県	尾 張	名古屋市、一宮市、瀬戸市、半田市、春日井市、津島市、犬山市、常滑市、江南市、小牧市、稲沢市、東海市、大府市、知多市、尾張旭市、岩倉市、豊明市、日進市、愛西市、清須市、北名古屋市、弥富市、あま市、長久手市、東郷町、豊山町、大口町、扶桑町、大治町、蟹江町、飛島村、阿久比町、東浦町、南知多町、美浜町、武豊町
	西三河	岡崎市、碧南市、刈谷市、豊田市、安城市、西尾市、知立市、高浜市、みよし市、幸田町
	東三河	豊橋市、豊川市、蒲郡市、新城市、田原市、設楽町、東栄町、豊根村
三重県	北 勢	四日市市、桑名市、鈴鹿市、亀山市、いなべ市、木曾岬町、東員町、菰野町、朝日町、川越町
	中 勢	津市、松阪市、多気町、明和町、大台町
	南 勢	伊勢市、尾鷲市、鳥羽市、熊野市、志摩市、玉城町、度会町、大紀町、南伊勢町、紀北町、御浜町、紀宝町
	伊 賀	名張市、伊賀市

【水稻調査結果の主な利活用】

- ・ 主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律（平成6年法律第113号）に基づき毎年定めることとされている米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針の策定のための資料
- ・ 「食料・農業・農村基本計画」における品目ごとの生産量や作付面積等のKPIの設定及び検証のための資料
- ・ 米・畑作物の収入減少影響緩和対策（ナラシ対策）の交付金算定のための資料
- ・ 農業保険法（昭和22年法律第185号）に基づく農作物共済事業の適切な運営のための資料

【Webサイト掲載案内】

- ・ この統計調査結果は、東海農政局Webサイトの「農林水産統計」で御覧いただけます。
<https://www.maff.go.jp/tokai/tokei/kohyo/schedule/index.html>
- ・ 全国値の詳細は、農林水産省Webサイトの統計情報に掲載している分野別分類「作付面積・生産量、家畜の頭数など」、品目別分類「米」の「作況調査（水陸稲、麦類、大豆、そば、かんしょ、飼料作物、工芸農作物）」で御覧いただけます。
https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/#y5
- ・ 確定した詳細な数値は、Webサイトに掲載（令和8年2月予定）します。
- ・ 公表した数値の正誤情報は、Webサイトでお知らせします。

【関連リンク】

- ・ 農業生産振興関係ページ：農林水産省＞組織別から探す＞農産局
<https://www.maff.go.jp/j/nousan/>
- ・ 病害虫に関する情報：農林水産省＞組織別から探す＞消費・安全局＞病害虫の防除に関する情報
<https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/>

※ 上記リンクでは、病害虫の防除に関する情報として、総合防除の推進や発生予察事業による病害虫の発生予測等について掲載しています。

なお、「植物防疫年報」として公開している病害虫の発生面積は病害虫の発生予測の参考として調査を行っているもので、農作物の作付面積、収量等の調査を行っている作物統計調査とは調査目的や調査方法等が異なります。

お問合せ先

◎本統計調査結果について
東海農政局 統計部 生産流通消費統計課
電話：052-763-4732

◎農林水産統計全般について
東海農政局 統計部 統計企画課
電話：052-763-4730



政府統計

政府統計の総合窓口
(e-Stat)

<https://www.e-stat.go.jp/>